

# 人生100年： 早期がん発見による 充実ライフの構築

特別講演 (50分・質疑応答込)



演題

がんを知る・防ぐ・  
早く見つける・  
治療を理解する

川崎医科大学総合医療センター 副院長

瀧川 奈義夫 氏  
たきがわ なぎお



事業説明 (10分)

「早期がん発見による  
充実ライフの構築」  
事業について

新庄村国民健康保険診療所 所長

大槻 剛巳 氏  
おおつき たけみ



委託事業解説 (30分)

演題

がんリスク検査の最前線？  
尿中マイクロRNAによるがんリスク  
検査「マイシグナル」とは？

Craif株式会社 経営企画室/  
Public Affairs統括

佐野 翔一郎 氏  
さの しょういちろう



日時

令和8年6月28日(日)

開場13:00 / 開演13:30 (15:00終了予定)

会場

新庄村役場 2階大ホール  
(真庭郡新庄村2008-1)

入場料 無料 (申し込み不要)

※駐車場には限りがあります。なるべく乗り合わせのうえ、お越しください。  
※講演会は公開となっております。どなたでも参加できます。

主催 / 新庄村

共催 / 新庄村国民健康保険診療所

お問合せ先

新庄村住民福祉課 TEL : 0867-56-2646

# Profile



たき がわ  
**瀧川**  
 な ぎ お  
**奈義夫**  
 氏

川崎医科大学の教授であり、川崎医科大学総合医療センターの副院長を務める医師です。専門は呼吸器内科学および腫瘍治療学で、特に肺がんの診断や化学療法、薬剤耐性の研究において第一線で活躍しています。

## 主な役職と専門分野

所属・役職:川崎医科大学総合内科学4教授、川崎医科大学総合医療センター副院長、総合がん診療センター長。

専門医資格:日本臨床腫瘍学会が認定する「がん薬物療法専門医」の一期生でもあります。研究テーマ:肺がんにおけるEGFR遺伝子変異や薬剤耐性メカニズムの解明、がん性悪液質の新規治療法確立など。

## 経歴の概要

学歴:1988年に岡山大学医学部を卒業し、1992年に同大学院医学研究科(内科学)を修了。主な職歴:岡山大学病院の講師、南岡山医療センター、四国がんセンターなどを経て、2011年4月より川崎医科大学の教授に就任。

診療の姿勢:「誰一人生まない」がん治療を掲げ、総合がん診療センターでは、内視鏡、化学療法、放射線、緩和ケアなど7部門を統合したチーム医療を推進しています。

現在、岡山県内において肺がん治療およびがん薬物療法の権威として、臨床・教育・研究の両面で活動されています。



1995年、静岡県生まれ。名古屋大学経済学部卒業後、サントリーに入社。サプライチェーン領域をはじめ、経営管理・ファイナンス業務に従事。海外駐在中にステージIVのがんが発覚し、治療を経験する中で、「早期発見の重要性」と「命に関わる技術を社会へ届ける意義」を強く実感する。その後、Craifに参画。現在は経営企画室／Public Affairs統括として、事業推進、行政・自治体を含む外部連携、社会実装に向けた仕組みづくりを幅広く担う。尿でがんリスクを調べる検査「マイシグナル」を社会インフラへと育てるべく挑戦を続けている。また、自身のSNS(YouTube・Instagram)では、がん闘病の記録や治療と仕事の両立についても発信している。



**マイクロRNA×AIで、  
がんリスクを早期発見**



マイシグナル・スキャン

**世界初** 医療機関導入 **2,000** 軒以上

共同研究 約 **50** 機関

※尿×AI×マイクロRNAを用いたがんリスク検査サービスとして(第三者機関調査)

**10種のがんリスクを、  
一度でがんの種類別に検査**



**尿だけでステージ1から、  
がんリスクを検知**

尿に含まれるマイクロRNAによる検査。1万件を超える大規模な尿データとAIを組み合わせて解析し、がんリスクを早期発見します。



# Profile



さ の  
**佐野**  
 しょう いち ろう  
**翔一郎**  
 氏